

平和に対する日本の取り組みにバハイ共同体はいかに援助できるか Japan's Contribution to Peace and the Role of the Baha'i Community

シュエリン公子

Kimiko Schwerin

精神性の開発を助ける（心の中の平和）

日本は物質的發展が急激であった為、それに伴う精神性の發展に遅れをとっている。いわゆる仏教的精神を持って日本は決して精神性に遅れていないと反論する人もあるかもしれないが、日本という国の壁を超え、国際的に博愛的に平和に奉仕するという点においては日本ははるかに遅れており、学ぶべき点が多いと考えられる。

従ってバハイ共同体から日本に貢献できるものの最重要課題はバハオラの示す精神的な恒久平和へ向かって、日本人の心の成長を助けることにある。

平和へのビジョンを分かち合う（地球の平和）

日本人の平和感に限られている。個人生活に基づいて小市民的平和を考える。いわゆる個人救済である。これに対し、バハイのビジョンは地球を丸ごと救済し、世界全体に平和への正しい価値観を分かち合うことにある。それは人間を超えた次元からしか見えないビジョン、それだからこそ全体を正しく把握したビジョンでもある。

平和という屋根を支える支柱を整える援助をする（日常平和）

平和は口で唱えるお題目ではない。実現するには実現生活の中の平和への支柱をしっかり築き上げておかねばならない。例えば、偏見をなくすこと、男女両性の権利を平等に実現できる社会を作ること、世界正法行政・司法等の機構を作り上げていくこと、世界言語、文学に基づく世界文明教育を子供にほどこすこと等々こういったことを日常生活の中で一般の市民が自力で少しずつ小さな貢献をして構築していく時、平和が自然な形で市民生活に現れてくることをバハイ共同体は模範をもって示さねばならない。

段階的に平和を（個人の努力と模範）

自己内の平和、家族との平和、地域社会での平和、国家の平和そして世界の平和と

つながるよう、信念をもち、努力を怠らないことで平和への貢献を示す。バハイ共同体のメンバーがより誠実で進行に満ちた人間となり、共同体そのものの発展につくすことにより、目に見える良き範例ができ、人々がこれに加わるか学ぶか協力をするようになると思われる。

バハイの使命

バハイの使命は教育にある。神について宗教について、社会について、未来について世界について、歴史について人々に伝えしめる任務がある。日本のバハイ共同体にバハオラが期待したこと、それはこの新しい啓示、その啓示のもたらす人心の変化と社会の変革について残りの日本人に伝えることにある。かつて顕わされたことのないこの 新たな真理を宇宙を含む神の世界への招待は全ての人の渴望する節である。その教育を効果的に果たせるよう研修、実体験を通して自己の精神性と能力を磨く必要があると思われる。

具体的活動

外部機関及び組織にバハイ共同体の存在とその世界的活動を知らしめる。たとえば、政府及び政府機関、メディア、経済界 NGO 団他、他宗教及び民間団体に向けての宣布活動など。

国内に於いては、宗教活動の他に社会経済発展 (NGO) 活動を行い、バハイ共同体の存在をビジブルにしていく。

個々人のバハイ学普及体験を深め、信仰を確固としたものに育てていく。

共同体のメンバーは何らかの布教及び教育活動に従事する。たとえば、出版による教育、子供クラスによる精神教育、自己の職業の専門分野を通してのバハイ教育研修による各種のバハイ教育等。

楽しく意義あるバハイの会を催すことによりバハイの精神愛、博愛、バハイスピリットを日本の人々に伝えていく。

バハイ行政に参加、協力することにより新地球社会の基盤作りに貢献していく。

自己の時間と資源を使ってこのすばらしい大業 (平和な地球国の建設) に貢献する。